

案内

- 礼拝堂は、神に礼拝を捧げるための神聖な場所です。堂内では、私語を慎み、静粛を保つよう心がけて下さい。
- 飲食物の持ち込みは禁止です。携帯電話の電源は必ず切って下さい。礼拝堂内では脱帽して下さい。
- 礼拝の中で、「祈祷」の時には、目を閉じ、手を組み、頭を垂れ、祈りにふさわしい姿勢を取り、祈る人の言葉に集中して下さい。
- 礼拝とは、前奏、讃美歌、聖書朗読、説教、祈り、後奏までを含んだものを言います。説教が終わったとたんに退席するなど、礼拝途中での出入りは慎んで下さい。

オルガニスト養成講座受講生発表会

相模原キャンパス

日時 1月18日(土) 15時

場所 ウェスレー・チャペル

青山キャンパス

日時 2月1日(土) 14時30分

場所 ガウチャー記念礼拝堂

洗礼を受けられた方へ

本学在学中に、教会で洗礼を受けられた方は、各キャンパス宗教センターにお申し出下さい。記念に新約聖書スタディ版を差し上げます。

教会暦と典礼色

キリスト教には教会暦と呼ばれる固有の暦があります。古くから人々は、時間もまた神が与えてくださったものであることを覚え、教会暦にそった祝祭日を祝うことで、イエス・キリストの生涯を覚えつつライフ・スタイルを整えてきました。この教会暦には象徴となる典礼色も定められています。呼称や期間区分は教会によって多少異なりますが、本学では合同メソジスト教会の教会暦にもとづいて、アドヴェント(紫=悔い改め)、「降誕節」(白=栄光・喜び)、「公現節」(緑=恵み・希望・成長)、「受難節」(紫=悔い改め)、「受難日」(赤=血・贖罪)、「陰府下り」(黒)、「イースター」(白=栄光・喜び)、「ペンテコステ」(赤=火・力)、「神の国節」(緑=恵み・希望・成長)、という周期を用い、聖壇のオルタークロスと礼拝週報の印刷色もこれに合わせています。

青山学院大学礼拝週報

2014. 1. 6.
1. 13.
No. 31,32合併号

公現節第1、2週

聖書の人々 [29]

「エリヤ」 Elijah

エリヤは紀元前9世紀前半に北王国イスラエルに登場した預言者です。エリヤとは「ヤハウェは神である」という意味です。そしてその生涯も、異教の神バアルへの信仰に傾斜していく当時のアハブ王と対峙し、ヤハウェ(主)が真の神であることを力強く示すものでした。

人々は荒野の時代から自分たちを導いてきたヤハウェと、農耕神であるバアルとの間で揺れ動いていました。それに対してエリヤは「あなたたちは、いつまでどっつかずに迷っているのか。もし主が神であるなら、主に従え。もしバアルが神であるなら、バアルに従え」(列王記上18:21)と厳しく問いかけました。それゆえ、エリヤは強い迫害を受けました。

しかし、エリヤは絶望せずホレブの山で主の「静かにささやく声」(列王記上19:12)を聞き、また、バアルを拜まない七千人の「残りの者」がいることを示されることで励まされ、その預言者としての使命を全うしました。その働きは高く評価され、エリヤはいつか再来するという待望が後代まで続きました(マラキ書3:23)。



今年度主題聖句

人にしてもらいたいと思うことは何でも、

あなたがたも人にしなさい。

(マタイによる福音書 第7章12節)